



ウェルビーイングな地域づくり 「結HUBサイクル」

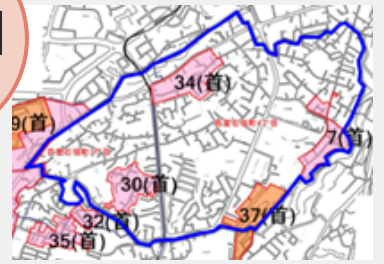
課題

自治会空白エリアが88%の石嶺小学校区域地域の社会的孤立問題
コミュニティへの参加機会の拡充が地域の課題

- ・小学校区まちづくり協議会を通じた市民参加機能の補完
- ・「担い手の発掘と育成」、「地域の課題解決の取り組みの創出」などの課題解決につなげる

88.1%

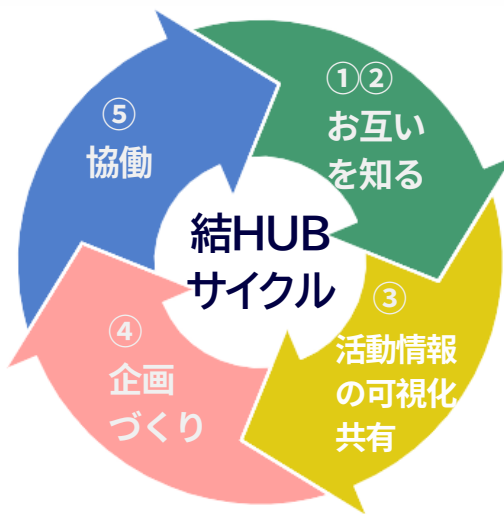
地域面積の88%のエリアが自治会がない!?



アイディア

住民一人ひとりが、よりよく生きるための選択肢を持てる地域づくりの仕組みを構築

『結HUBサイクル』は、地域の人々が何らかのコミュニティへ参加する第一歩として、団体・活動情報を提供し、地域の活動を身近に感じ、誰もが参加しやすい環境を整えます。そして、コミュニティ同士の出会いと多様なつながりや協働の輪を広げ、地域全体で課題解決に向けた新たな取り組みが生まれる仕組みです。



①【お互いを知る】

▶ 団体活動発表会その1

石嶺地域の団体活動発表会を年2回開催。第1回は、成果や今後の計画を共有し、コラボ企画の可能性を探り、新たな協力関係を築くきっかけを提供する。

②【活動情報の可視化・共有】

▶ イベント・活動情報マップ

活動情報を整理する地図アプリ導入。住民参加を促進情報格差を解消し、地域全体のつながりをつくる。

③【活動情報の共有】

▶ オープンチャット、朝食会

各団体が参加するオープンチャットを展開し情報共有と交流を促進。対面での「朝食会」を開催し、デジタル弱者などの情報共有の場もつくる。

④【企画づくり】

▶ 団体活動発表会②

コミュニティ同士の1年間の取組みを共有し、次年度、一緒に取り組めることを話し合い、企画をつくる。

⑤【協働】

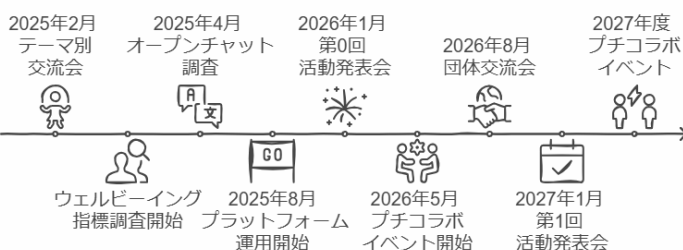
▶ 各団体同士のプチコラボ／資金支援

石嶺地域の団体協働企画に1件5万円の資金支援を実施。寄付で資金を募り、新たなつながりや広がりを生むことで、参加者や支援者を増やす機会を創出する。



実現までのプログラム

2027年度からの本格稼働にむけて、まずはテーマ別交流会を2025年2月に実施予定!!!



2027年
本格稼働



結HUBのアイコン「アドバルーン」地域の人々が楽しく参加し、自然に活動へのつながりを実感できます!